

令和2年1月14日  
佐賀大学

## 記述式問題導入見送りに対する佐賀大学の対応について

[文部科学省の導入見送りの発表](#)を受け、平成30年9月28日付けで予告していた「2021年度佐賀大学入学者選抜方法の変更について」を以下の内容に変更します。

### 記

本学は、「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について」（平成29年7月13日付け文部科学省高等教育局長通知）を踏まえ、入学者選抜において、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するべく見直しの検討を進めております。

これにより2021年度入試以降の入学者選抜方法を変更することといたしましたので、現時点における方針等をお知らせいたします。

なお、選抜方法の詳細については、2019年3月までに本学ホームページ等で公表する予定としております。

#### ○ 大学入学共通テストについて

1. 一般選抜における第一次試験として、高等学校等における基礎的知識、および思考力・判断力を測るため、大学入学共通テスト（以下共通テスト）については、原則5教科7科目を課します。（実技検査を課す一部の学部学科を除く）

#### ~~2. 共通テストにおける記述式問題（国語・数学）について~~

~~共通テストにおいて5教科7科目を課す原則の下、記述式問題を含む国語及び数学を一般選抜の全受験生に課します。（削除）~~

#### ○ 個別試験について

1. 個別試験で課す教科・科目等については、原則として現行のとおりとし、変更はいたしません。
2. 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、教育学部、芸術地域デザイン学部（地域デザインコース）、経済学部、理工学部、農学部においては、現行の教科・科目等に加え、志願者本人が記載する高校在学中の活動実績資料等を活用する<sup>\*1</sup>「特色加点制度」を実施します。芸術地域デザイン学部（芸術表現コース）においては、実技検査の中で評価します。また、医学部においては、現行どおり面接を用います。

#### \*1

「特色加点」とは、志願者の積極的なアピールと高等学校入学以降の主体的な活動を喚起することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。センター試験、個別試験などの合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、書類審査として加点枠を設けます。

特色加点は、志願者が取り組んできた様々な活動や実績を踏まえた申請内容を評価の対象とします。申請された活動・実績の概要や取り組み状況、志望分野との関連性、入学後に期待できる主体的な学習行動や活動、根拠資料の内容等について、アドミッション・ポリシーの観点から評価します。

なお、特色加点については、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。